

岩城賞について

岩城賞は日本移植学会へ学術振興のために南カリフォルニア大学の岩城裕一先生から寄付をされた基金をもとに学術研修分野で功績のあった者および移植医療・臓器提供の普及発展に貢献する者(いずれも日本移植学会会員)に対して表彰・助成をするものです。

この賞は以下のものを表彰・助成します。

① ベストアブストラクトアワード

学術集会にて対象セッションに応募された演題の中から、候補演題の推薦を、臓器提供普及啓発委員会委員長が行う。

臓器提供普及啓発委員会委員長に推薦された演題の中から、基金推薦委員会にて選出を行う。

② ベストドナーアクションプログラムアワード

よりよい終末期医療を提供するために医療施設ごとに人的・構造的課題を抽出し改善へと導く方法論として開発された「ドナーアクションプログラム(DAP)」に最も積極的に取り組んだ団体を表彰する。心停止後提供推進委員会に推薦された団体の中から基金推薦委員会にて選出を行う。

③ Donation& Transplantation Institute (DTI)派遣助成

スペインバルセロナに本部を置く、DTIが主催するセミナーに参加する費用の一部を助成する。毎年6月30日までに日本移植学会評議員に推薦された候補者の中から基金推薦委員会にて選出を行う。

④ 人材育成助成

人材育成委員会が開催する次世代リーダー養成セミナー(移植医部門・救急医部門)や移植医リクルート活動等を助成する。

⑤ 臓器移植啓発活動助成

学会が主催あるいは支援する臓器移植啓発活動を助成する。総務委員会が選出を行う。